

2024年10月28日

「2024年7～9月期業況アンケート調査」結果
(2024年10月調査)

全産業の業況感は2期ぶりに悪化、先行きも悪化見通し

照会先 一般財団法人長野経済研究所
調査部（担当：桑井、中村）
電話 026-224-0501



2024年7～9月期 業況アンケートから

全産業の業況感は2期ぶりに悪化、先行きも悪化見通し

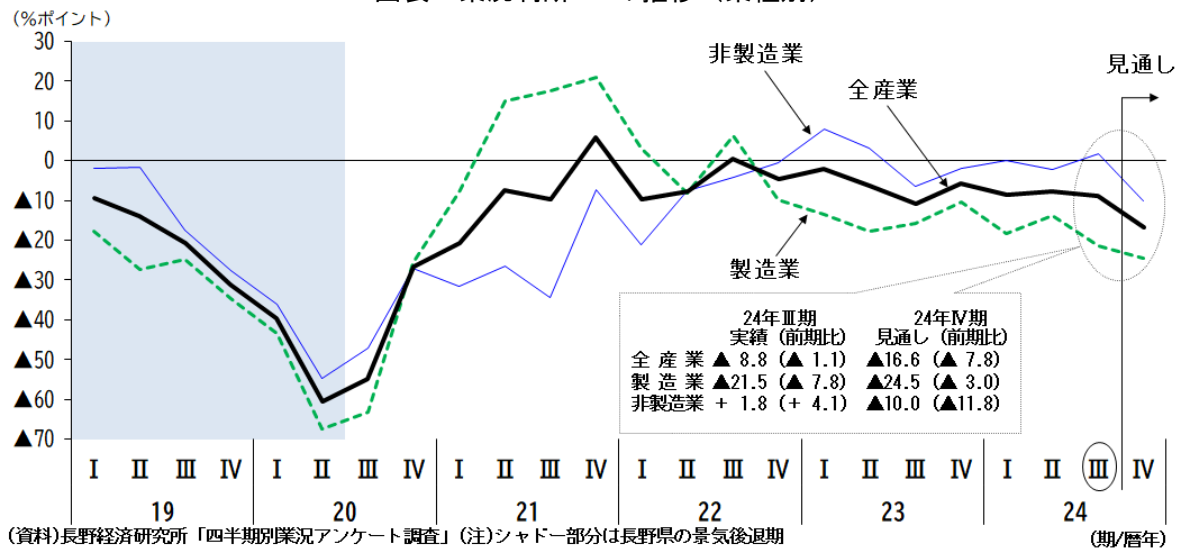
○製造業の業況感が2期ぶりに悪化

- ・ 24年7～9月期の県内企業の業況判断DI（業況が「良い」と答えた企業割合－「悪い」と答えた企業割合、%ポイント）は、全産業が△8.8と前期に比べ1.1ポイント低下し、2期ぶりに悪化した（図表1）。
- ・ 業種別では、製造業が△21.5と前期に比べ7.8ポイント低下し、2期ぶりに悪化した一方、非製造業は+1.8と同4.1ポイント上昇し、2期ぶりに改善した。
- ・ 規模別では、大企業製造業が△22.3と前期に比べ24.9ポイントの大幅な低下となり、再びマイナスに転じた一方、大企業非製造業は+9.4と同6.3ポイント上昇し、2期ぶりに改善した（図表2）。
- ・ 24年10～12月期は、全産業が△16.6と今期に比べ7.8ポイント低下する見通し。業種別では、製造業は△24.5と同3.0ポイント、非製造業は△10.0と同11.8ポイントいずれも低下する見通し。企業規模別では、大企業製造業が△16.7とマイナス水準ながら改善する見通し。
- ・ 24年7～9月期の売上高は、非製造業は前年を上回ったが、製造業は前年並みとなった。10～12月期は非製造業が前年を上回るが、製造業で前年を下回る見込み。24年7～9月期の経常利益は、製造業、非製造業ともに前年を下回り、10～12月期もともに前年を下回る見込み（図表3、4）。
- ・ 雇用水準DIは、非製造業の不足感が引き続き強く、設備水準DIは、製造業が過剰超に転じた。（図表5、6）。

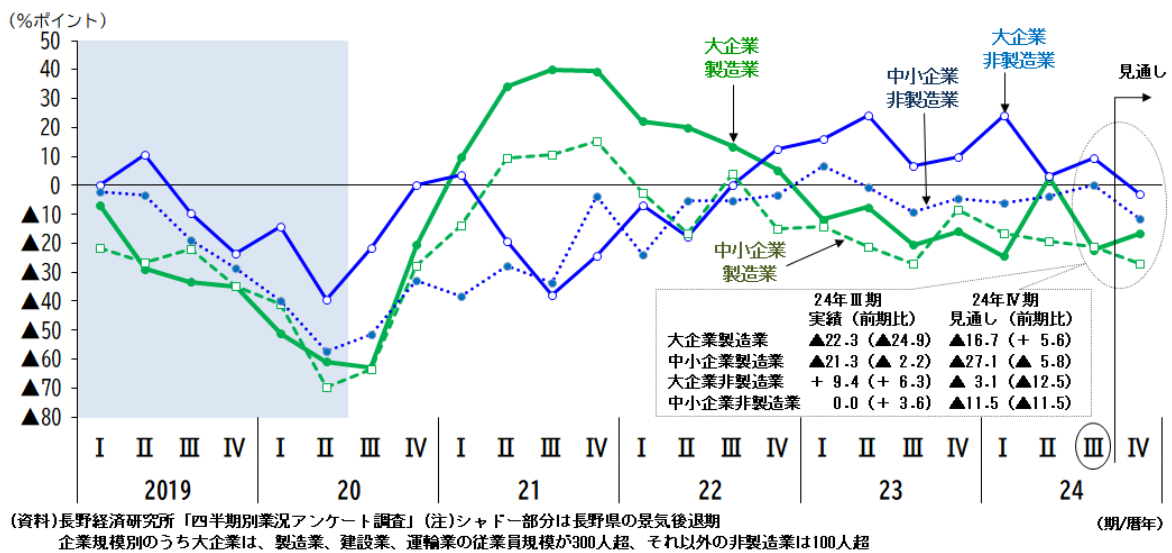
○今回調査のポイント

- ・ 24年7～9月期の製造業は、台風による一部完成車メーカーの工場の稼働停止の影響で自動車関連の生産が弱含んだほか、中国景気の低迷やPC・スマートフォンなどIT関連需要の減少から電子部品・デバイスや生産用機械の受注・生産の回復が遅れており、全体の業況感が悪化した。非製造業は、製造業関連の受注低迷が続く貨物や機械器具卸などが低調だったものの、建設業では公共工事量が安定していたほか、宿泊・旅客といった観光関連サービス業の業況感が客数増加や客単価上昇により改善したことで、全体の業況感は改善した。
- ・ 24年10～12月期の製造業は、中国景気の低迷やIT関連需要の弱さに対する慎重な見方もあり、業況感はやや悪化する見込みとなっている。非製造業は、観光面では国内客やインバウンド需要が底堅く推移するとみられるものの、貨物や機械器具卸では製造業からの受注見通しに慎重なほか、コスト上昇や人手不足に対する懸念などから、業況感は悪化に転じる見通し。
- ・ 今後は、製造業ではIT関連や自動車関連需要の動向、非製造業では引き続きコスト上昇分の価格転嫁の動向や人手不足下での需要の取り込みなどが注目される。

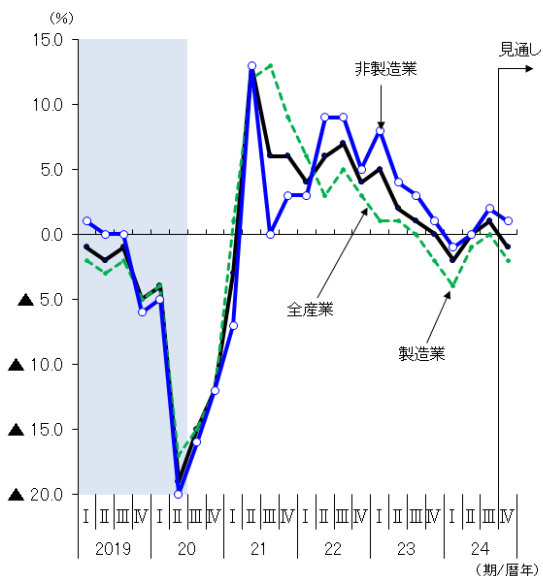
図表1 業況判断DIの推移（業種別）



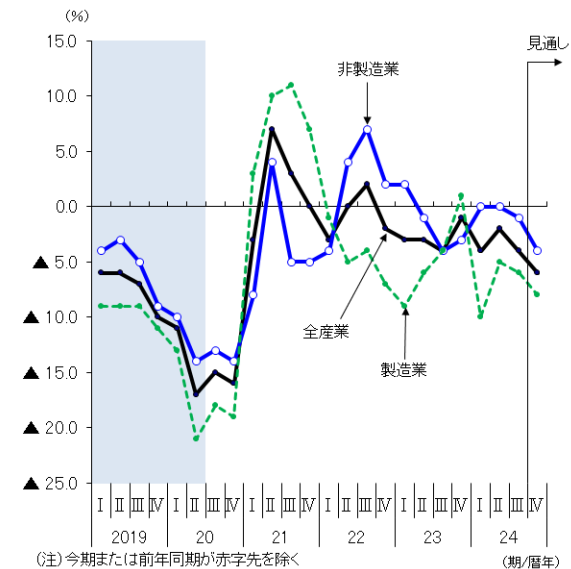
図表2 業況判断DIの推移（規模別）



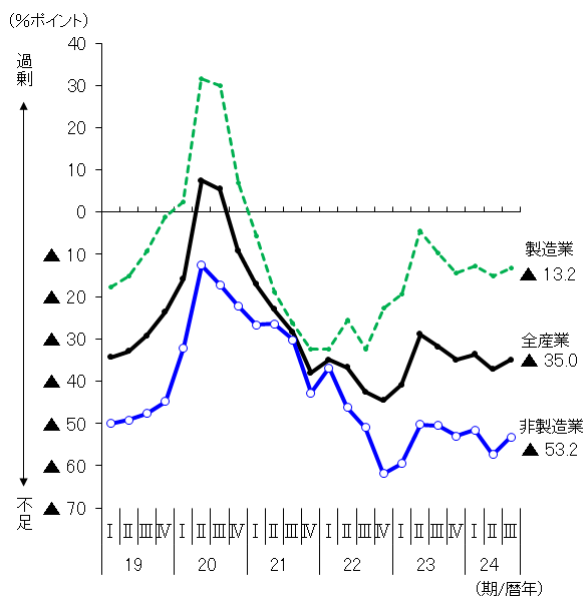
図表3 売上高の推移（前年同期比）



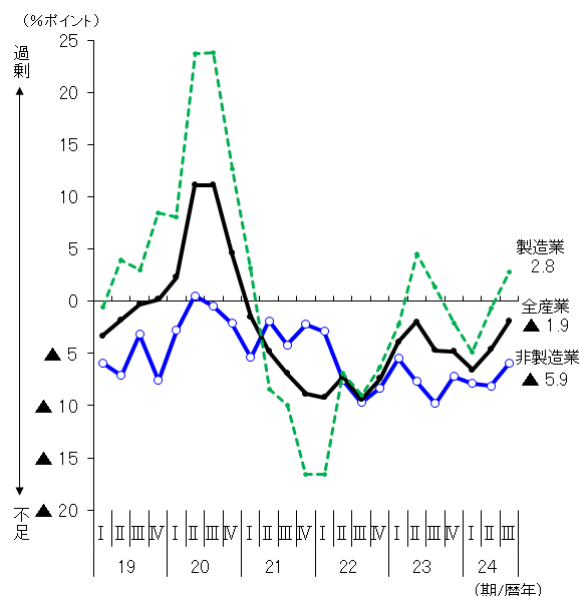
図表4 経常利益の推移（前年同期比）



図表5 雇用水準DIの推移



図表6 設備水準DIの推移



<各DIの推移>

□ 業況判断DI (業種・規模別) (回答社数構成比「良い」-「悪い」・%ポイント)

業種		2023年 7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	10~12月 見通し
全産業		▲10.7	▲5.8	▲8.5	▲7.7	▲8.8 (▲13.3)	▲16.6
製造業		▲15.8	▲10.3	▲18.4	▲13.7	▲21.5 (▲19.5)	▲24.5
非製造業		▲6.3	▲1.8	0.0	▲2.3	1.8 (▲7.7)	▲10.0
	卸小売業	▲10.5	▲2.8	0.0	▲17.9	▲14.3 (▲17.9)	▲18.6
	建設業	▲15.9	▲5.2	7.0	2.5	2.8 (▲12.8)	▲13.8
	サービス業	4.7	1.7	▲5.4	11.0	18.4 (6.3)	1.6
規模別	製造業						
	大企業	▲20.5	▲15.8	▲24.3	2.6	▲22.3 (▲18.0)	▲16.7
	中小企業	▲27.1	▲8.4	▲16.4	▲19.1	▲21.3 (▲20.0)	▲27.1
	非製造業						
大企業	6.9	10.0	24.3	3.1	9.4 (▲3.1)	▲3.1	
中小企業	▲9.0	▲4.4	▲6.1	▲3.6	0.0 (▲8.7)	▲11.5	

※括弧内は前回見通し

□ 雇用水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種		2023年 7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	
全産業		▲31.9	▲35.0	▲33.7	▲37.2	▲35.0	
製造業		▲9.6	▲14.5	▲12.8	▲15.0	▲13.2	
非製造業		▲50.5	▲53.0	▲51.5	▲57.3	▲53.2	
卸小売業		▲41.8	▲44.3	▲34.8	▲53.7	▲44.3	
建設業		▲56.8	▲59.0	▲69.8	▲62.5	▲66.7	
サービス業		▲55.5	▲59.6	▲57.1	▲57.8	▲55.4	
規模別	製造業	大企業	▲12.8	▲18.4	▲8.1	▲23.1	▲11.1
		中小企業	▲8.5	▲13.1	▲13.6	▲12.1	▲13.9
	非製造業	大企業	▲65.5	▲63.3	▲63.6	▲71.9	▲53.1
		中小企業	▲47.6	▲50.7	▲48.4	▲54.0	▲53.3

□ 設備水準判断 DI (回答社数構成比「過剰」-「不足」・%ポイント)

業種		2023年 7~9月	10~12月	2024年 1~3月	4~6月	7~9月	
全産業		▲4.7	▲4.8	▲6.6	▲4.6	▲1.9	
製造業		1.4	▲2.1	▲4.9	▲0.7	2.8	
非製造業		▲9.8	▲7.2	▲7.9	▲8.1	▲5.9	
卸小売業		▲8.9	▲8.6	▲9.1	▲10.4	▲8.6	
建設業		▲2.3	0.0	▲2.3	▲2.5	▲5.6	
サービス業		▲15.9	▲10.5	▲10.7	▲9.4	▲3.1	
規模別	製造業	大企業	▲2.5	0.0	▲2.7	2.6	5.6
		中小企業	2.8	▲2.8	▲5.8	▲1.8	1.9
	非製造業	大企業	▲20.7	▲10.0	▲12.1	▲18.8	▲15.6
		中小企業	▲7.6	▲6.6	▲6.8	▲5.7	▲3.6

■ 調査概要

- ・ 企業経営者を対象にした調査で、業況、売上高、経常利益、受注、生産、価格など、企業活動に関する現状と見通しを数字で表したものである。具体的には、個々の項目毎に、良い、好転（増加等）と回答した企業から、悪い、悪化（減少等）と回答した企業割合の差を算出するほか、当期の水準を前年同期と比較、検討し、その動きから景気全体の趨勢を判断する。

◆ 調査対象期・実施時期・為替レート

- ・ 対象期 2024年7～9月期、見通し24年10～12月期
- ・ 実施時期 24年9月中旬～24年10月上旬
- ・ 平均為替レート 24年7～9月：149.56円/\$（4～6月：155.76円/\$）

◆ 対象県内企業・事業所

		製造業			非製造業			卸・小売	建設	サービ	大企業	中小企業	合計
		大	中小	大	中小								
合計	対象先数	261	55	206	357	44	313	143	78	136	99	519	618
	回答先数	144	36	108	171	32	139	70	36	65	68	247	315
回答率 (%)		55.2	65.5	52.4	47.9	72.7	44.4	49.0	46.2	47.8	68.7	47.6	51.0

(注) 企業規模別のうち大企業は、製造業、建設業、運輸業の従業員規模が300人超、それ以外の非製造業は100人超

◆ 製造業の想定為替レート（平均）

	2024年度上期	2024年度下期
ドル円	144.62円 (145.00円)	141.52円 (143.00円)
ユーロ円	156.57円 (160.00円)	154.62円 (158.50円)

※ 括弧内は中央値

以上